



11
5-7



2010年「スペシャルオリンピックス日本 第5回 夏季ナショナルゲーム・大阪」開催!

11月5~7日の3日間、「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」が開催されました。今回は、出場アスリート1050人、選手団役員・コーチ650人、大会役員・審判800人、ボランティア4000人、そのほかにファミリー・応援団多数と、これまでで最大規模の大会となりました。

SON東京の選手団は、アスリート102人、コーチ（団長・副団長含む）44人、総勢146人。陸上

競技（万博記念競技場）、卓球、バドミントン（ともに舞洲アリーナ）、テニス（シーサイドテニスガーデン舞洲）、水泳（大阪市舞洲障害者スポーツセンター）、バスケットボール（なみはやドーム）、サッカー（長居第2陸上競技場）、体操競技（大阪府立障がい者交流促進センター）、ボウリング（イーグルボール）の9種目に出場しました。開会式は5日16時から。高円宮妃久子殿下をお迎えして、大阪城ホールで幕を開け、

翌6日、7日の競技では、アスリートたちは日頃の練習の成果を精一杯発揮することができました。引き続き夕方行われた閉会式（なみはやドーム）では、折り紙の飛行機を飛ばして、明日からの活動を誓いました。

陸上競技を応援に有森SON理事長&北京オリンピック銅メダリスト・朝原宣治さん



卓球



陸上競技



サッカー



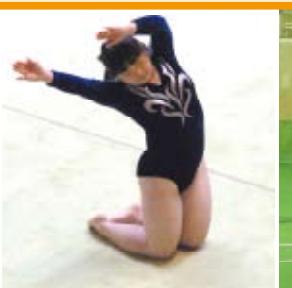
水泳競技



バスケットボール



ボウリング



体操競技



テニス



バトミントン



閉会式 次の大会(福島県)でまた会いましょう!

「充実の3日間」

ナショナルゲームでは撮影の他、ファミリー、大阪のボランティアの方と談笑したりと非常に充実していました。

3日間で感じたことを3点挙げさせていただきます。1つ目に、ボランティアの充実です。アスリートが良い環境でスポーツをするにあたり、一生懸命サポートする姿に感銘を受けました。2つ目にファミリーを中心とした応援です。大変熱のこもった応援をしている種目もあり、鳥肌が立ちました。アスリー

トもいつも以上の力が発揮できたのではないかでしょうか？3つ目は今後の課題となる点ですが、地区組織によってまだまだ規模の差があることを強く感じました。いずれ、地区組織の合計点を競い合うくらいの規模になってほしいですね。

今後もボランティアとして少しでも力になれればと思います。そのためにももっと現場に足を運び、アスリート、ファミリー、コーチの方々と交流していきたいです。

(ボランティア：宗塚誠さん)

コーチ、応援のファミリー、ボランティアの感想

★ 「陸上競技観戦記」

陸上競技が行われた「万博記念競技場」は、Jリーグのガンバ大阪の本拠地としてもテレビでお馴染みの立派な競技場。そんな競技場で走れるなんて、我が子ながら羨ましいなあ、などと思いながら、私は2日間の競技を観戦し、声を嗄りました。

アスリートたちの活躍は、もちろんしっかり脳裏に収めましたが、何より印象的だったのは、ボランティアの方々の温かくも献身的なサポート。この方たちの万全の準備と、的確で丁寧な進行・運営補助によって、この一大イベントは成り立っているのだな、と改めて痛感しました。本当に感謝です。

この大会で日頃の実力を出し切ったアスリートも、緊張してじっとしたアスリートも、そしていろんな事情で今大会に参加できなかったアスリートも、また4年後の大会で、どうかその実力を発揮できますように。（ファミリー：宮川貴治さん）

★ 「ボランティアに感謝」

夏季ナショナルゲーム・大阪での心ときめく貴重な経験に感謝申上げますとともに、大会関係者の皆様のご尽力、ご配慮に厚く御礼申上げます。特にボランティアの皆様の心温まるもてなしに頭が下がる思いです。ホテルでは徹夜で見守ってくださいり、我々コーチ、アスリートは安心して夜を過ごし、競技に専念することができました。

さて、バスケットボール女子は参加が2チーム、アスリート達は日頃の練習の成果を発揮すべく一生懸命のパフォーマンスを見せてくれました。一方、参加チームがもう少し多ければもっと充実した大会になったとの思いがあり、次期大会に向けての課題と認識しました。次期大会に向けて多くのアスリート・コーチの皆さんにこの体験を伝え、さらに大きな輪に拡大出来るよう取り組んでまいります。（コーチ：坪野修二郎さん）



★ 「ナショナルゲームを応援して」

地区大会と比べて、規模が大きいので当然といえば当然ですが、各地区的いろいろな色のユニホーム、アスリートへの各地区のコーチ&ファミリーの熱い声援で、『本当にナショナルゲームは華やかだなー』というのが、アスリートの応援のため、初めてナショナルゲームに参加した、第1印象でした。

そして何より、競技で自分なりの成果を得た満足感なのでしょうか、表彰式台に上がるなどのアスリートの表情にも、素敵なかみ笑顔が満ちていたのが、本当に印象的でした。

（ボランティア：吉田督さん）

★ 「プレーに感激」

残暑厳しい中、大阪大会に向けて特別練習が始まる。

コーチの指示に1つ1つ応えようと努力し、確実に力を付けていく。臨んだ試合では、練習でも見せなかつた好プレーの連続に、ベンチは大興奮。主任コーチの指示通りのプレーが決まり大感激。勝って喜び合うアスリートのその成長した姿に思わず涙腺が緩む。

ボランティアの皆様へ、あたたかい歓迎と支えに感謝。コーチの皆様へ、強力なサポート体制に感謝。ファミリーの皆様へ、練習時に試合に熱い応援に感謝。そして、アスリートへ、その笑顔に出会えたことに感謝。（コーチ：河村理江さん）

★ 「初勝利、そして銀メダル～サッカー」

今回チームとして初めてのナショナルゲーム参加となったサッカー・プログラム。江東、杉並それぞれの会場から選ばれたアスリート8名が、一丸となってゲームに臨んだ結果、大会2日目の決勝（対熊本）初戦で初勝利を納め、さらに3日目にも1勝（埼玉）1敗（長崎）という好成績で、見事2位・銀メダルを獲得しました。コーチの大塚正雄さんはこの成果に「アスリート全員が一所懸命がんばってくれたおかげ。よかった！」と目を潤ませていました。

（ボランティア：峰岸和弘さん）



10/3

第8回 ウォーク&ランフェスティバル開催

心配された雨も降らず、暑いくらいのお天気に恵まれた10月3日(日)、皇居周辺で「第8回ウォーク&ラン フェスティバル」が開催されました。

タイムトライアルレースには78人のランナーが参加。アスリート、協賛企業のほか、今年は新たにランニングイベントのポータルサイト「ランネット」を通して申し込みをした一般参加者18人が、5kmコースと10kmコースでタイムを競いました。

宣言タイムレースには65チームが参加して、事前に宣言したタイムをめざし、桜田門をスタート。竹橋、千鳥ヶ淵とリレーして、再び

桜田門からの第4走者は、企業・団体のランナーとアスリートと一緒に、ゴールの竹橋へ走り&歩きました。

「開会式・交流会」と「表彰・閉会式」が行われた東京海上日動ビル新館2階の食堂は、参加者でいっぱい! 表彰式では、チームの思いを託して作成したアートフラッグのベスト賞に、日本オーチス・エレベータ首都圏Aチーム。宣言タイムレースは「自信あり」と答えたチームが多い中、3位は東京海上日動キャリアサービスTCSチーム新宿、2位はリッシュモンジャパン新宿伊勢丹チーム。そしてみごと1位には、宣言タイムと実走タイムの

誤差わずか25秒の三菱UFJ信託銀行チームピーターが輝きました。

秋の午後、ボランティア・運営スタッフも合わせて、約630人の参加者の笑顔あふれるイベントとなりました。

ご寄付・ご協賛・ご協力をいただいた企業・団体の方々、ボランティアのみなさま、ありがとうございました。今回は、11月に開催されたスペシャルオリンピックス日本「夏季ショナルゲーム・大阪」の東京選手団派遣支援のチャリティイベントでしたが、当初の目的を達成することができましたことに厚く御礼申し上げます。



■ W&R協賛・協力企業一覧

(ご協力ありがとうございました)

後援 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本
千代田区
東京都

日本アムウェイ合同会社
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
株式会社日本ホールマーク
日本ユニシスグループ
マテル・インターナショナル株式会社
マッコーリーグループ
三菱UFJ信託銀行株式会社
リッシュモンジャパン株式会社

東京海上日動メデカルサービス株式会社
有限会社トライ・アングル企画
日本オーチス・エレベータ株式会社
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
日本ユニシスグループ
パソナグループ

寄付 遠藤波津子グループ本社
大塚商会ハートフル基金
住商情報システム社会貢献活動クラブEARTH ONE
東京海上日動メデカルサービス株式会社
日本オーチス・エレベータ株式会社
マッコーリーグループ
マーシュジャパン株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
UBSグループ

諸事協力 一般財団法人アールビーズスポーツ財団
東京海上日動ファシリティーズ株式会社
株式会社ビジア
富士ゼロックス東京株式会社

富士ゼロックス端数俱楽部
文京学院大学女子高等学校
マッコーリーキャピタル証券会社
住商情報システム株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
UBSグループ
リッシュモンジャパン株式会社
株式会社ワークスアプリケーションズ

物品提供 株式会社アシックス
スエヒロ商事株式会社
ドイツ銀行グループ
東京コカ・コーラボトリング株式会社

ボランティア参加 あすか製薬株式会社
アルコア・ジャパン株式会社
株式会社大和証券ビジネスセンター
ドイツ銀行グループ

来賓 枝廣泰俊氏(UBS銀行日本における代表者)
三井嬉子氏(認定NPO法人SO日本会長)

9/4 SON東京の交流会

SON東京の活動に参加している人たちの交流会が9月4日(土)、渋谷アムウェイホールで行われました。ともに活動していても意外と知らない、他のプログラムや委員会のことを知る機会として企画された今回の交流会には、アスリートやファミリー、プログラムなどに参加しているボランティアなど、約180人が集まりました。当日は、TACO(合唱プログラムから生まれた4人のユニット)やダンスプログラムのステージを楽しみ、それぞれのプログラム・委員会ごとの対抗アピール合戦では、寸劇・踊り等々工夫を凝らした

紹介に、笑いあり・感動ありのひとときを過ごしました。

また「ナショナルゲーム招致有志の会」による「2014年ナショナルゲームを東京で!」のサプライズ・アピールもありました。

さらに参加者全員に用意された名刺(参加プログラムや名前が記載されたカード)をまわりの人たちと交換することで、日々なかなか接点がない他のプログラムや委員の人たちと交流を深めることもできました。



ボランティア委員会＆企画委員会のパフォーマンス



各プログラム・委員会等のパフォーマンスを真剣に審査

10/31 ボート体験会

10月31日、東京海上スポーツ財団と東京海上日動火災保険株式会社ボート部のご招待により、今年で第5回を迎えるボート体験会が埼玉県の戸田艇庫にて行われました。「体験ができると気持ちよくて楽しいよ!」と周りから聞いてもイメージがわからず、楽しみ半分怖さ半分での初参加でした。準備運動ののち、基本レッスン、即実践!アスリートは日頃のプログラム参加の成果か、上手にスイスイ。ボート部の方々が優しく指導してくださって

も私は必死…最後のほうに、やっと息を合わせて漕げた時は、ほっと一安心でした。体験後は美味しいお弁当をいただきながら、交流タイム。会場のあちこちで笑顔が見られました。

「ボートプログラムを開催するなら協力できると思いますよ!」と声をかけていただき、活動を支えてくださる方々の温かい思いに感謝し、これからも1つ1つの活動を大切に頑張っていきたいと思いを新たにいたしました。(事務局 増田絵里)



構内の草取り、落ち葉掃き……といろいろな作業をしています。

秋になると、構内にはけやきやイチョウの落ち葉が舞い散ります。その日の午後は、三四郎池の周囲の落ち葉を掃き集める作業。早川さんも『東京大学 環境整備チーム』と背中にロゴが入ったブルーの制服で、きびきびと作業を進めています。

11月～12月にかけては、東大名物のイチョウの葉がたくさん落ちるので、大忙し!「葉っぱが毎日落ちてくるので、みんなで清掃します」。きれいに掃き清められた構内を見ると、「よかった!」と思うそうです。「大変な仕事は、ゴミの分別です」



山田さん(左)と渡部さん(右)と一緒に

と掃いたり……、動きが機敏ですね」

「勉強会で、チームワークを高めている」と早川さん。えつ、さすが東大!とおうかがいすると、大雨の日や猛暑の日は、午後の外作業は中止。漢字の勉強などを行っているそうです。とはいえば仕事。大雨でない限り、合羽を着て空き缶や紙くずなど人工物のゴミを拾う作業をしています。

おふたりは、知的障害の人たちとともに働くことについて、「ゆっくり慌てずにやりなさいと話しています。慌てるとできることもできなくなりますから、ゆっくりでいいから丁寧に作業をするようにしています」「得意でないところは繰り返さないように注意して、それぞれの得意なところを伸ばしてあげて、できることが少しでも広がっていけばいいですね」

明るくて、人気者だという早川さん。「ふだんと違うね」と言われるほど、取材には緊張していましたが、これからもムードメーカーとして、仕事を頑張ってくださいね。

(ボウリングプログラム高田馬場会場に参加)

WORKING ATHLETES
～働くアスリートたち～

第10回 早川健太さん(25歳)

日本で一番有名な大学、「東京大学」。本郷キャンパスには、赤門、安田講堂などの歴史的な建造物とけやき、イチョウなどの大木がたくさんあります。

2006年4月、東大は施設部保全課に「環境整備チーム」を作り、知的障害の人たちの雇用を始めました。早川健太さんは、そのときに就労支援を行っている練馬区立貫井福祉工房を経て、就職しました。

「就職が決まったときは、うれしかった」

◆きれいになると、気持ちいい



現在、仲間のスタッフは13名。環境整備チームの仕事は、本郷キャンパスの外掃除と、赤門・正門などに設置してあるダストボックスから回収した一般ゴミ・缶類・タバコの吸殻などを6種類に分別、搬出すること。季節にあわせて、広い

環境整備チームでは、コーディネーターが7名体制でスタッフをサポートしています。その1人、山田喜朗さんは「彼はきちんと仕事をしています。朝のミーティング当番のとき、進行メモを見ないで進めようという努力をしているところは偉いですね。休みませんし、みんなと仕事をしているのが楽しいと話しています」

早川さんは、「スタッフと仲良く、協力できている。ボウリングは楽しい」と。同じくコーディネーターの渡部佳朗さんは、「ボウリングのスコアは教えてくれますよ。得意なところは道具を揃えたり、落ち葉を見つけてさっ



VOL.18
A B C D
E F G

「驚くなれ! の 英会話プログラム」

ファミリー:吉澤万知子

アスリートは、大峰あき子先生の指導の下、英語で歌ったり、歌に合わせて絵を描いたり、簡単なゲームをして楽しんでいます。藤田直美先生の英会話コーナーでは、レストランでの注文や自己紹介を英語で言ったりします。

英会話プログラムは中瀬中学校のご厚意で音楽室をお借りしており、年に1回、中学生希望者との交流体験授業を行っています。今年は、男女あわせて23名の中学生が音楽室でアスリートと英語で歌つたり踊つたりして楽しみました。2時間余りでアスリートとの距離は縮まる?いやいや、驚くなれ!手や身体が触れて活動しているうちにお互いがとても近くに感じられるようになったようで、互いに肩を組んでいる子さえいましたよ!

中瀬中学校は、スペシャルオリンピックスに会場をお貸し下さっている数少ない学校の1つ。そのご縁を担っている英会話プログラムの責任を強く感じます。

また、英会話プログラムは投資銀行ゴールドマン・サックスのボランティア派遣も受けて

います。驚くなれ! プログラム開始前には、アスリート達が寄ってきて、胸を張って英語で自己紹介する場面などあります。国際的です!

昨年は、中瀬中学校のステージでミュージカルSound of Musicでおなじみの「My Favorite Songs」を皆で歌いました。難しい単語がいっぱいの曲です。でも、驚くなれ! 本番ではアスリートだけでこの難しい英語の歌を歌いとおすことができました!

最後にアスリートの万見子より一言。「ステージでお友達とピアノを弾きました」。中瀬中学校のステージにはスペシャルオリンピックス紹介の枠があり、ピアノの連弾を聴いていただきました! 連弾をしたりするお友達ができて、奇跡はいっぱい! 驚くなれ!

主任コーチ:大峰あき子

歌、芝居、絵本作り、フォークダンスなど様々なプロジェクトを通して英語を身につけていくアスリート達を見ていると自然に元気が出てきます。英会話を引き継いでもう4年、グループの才能(絵、演劇など)や興味をもとにプログラムを考えました。去年はエリック・カールの「くまさん、くまさん、なにみてるの?」を絵描き曲にのせて発表。今年は、「おおきなかぶ」の英語劇を制作中です。

最初は少人数でとてもアットホームなプログラムでしたが、おかげ様で今では20人以上のアスリート達が毎月、中瀬中学校の音楽室

で笑顔を交わしています。

9月に中瀬中学校1年生約20名が英会話プログラム体験授業に参加されました。皆さん、中学生時代を思い出して下さい。何でも恥ずかしい、積極的に喋れない……、そこは時代が変わっても同じ。でもこの場で、素晴らしい事がおこったのです。体を動かし、誰もが初めての英語の歌を間違えながら歌っている間に笑顔が生まれたのです。その笑顔が笑いになりました。全部言葉が分からなくても、全部歌詞が歌えなくても良いのです。心のそこから「楽しい!」を感じている時って、星に負けないぐらい輝きますよね。まぶしいほどの笑顔が輝いていました!

笑顔は世界共通ですよね? 世界大会などで外国人アスリート達と交流が出来るようになると始まった英会話プログラムですが、今ではそれ以上の事を私やボランティア達に教えてくれています。どんな壁でも超えられる。笑顔があれば。みんなありがとうございます! Keep smiling!



吉澤万見子さん



英会話コーチ大峰あき子さん

法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の会費・寄付、ならびにチャリティ事業などによってまかなわれています。

何卒多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

●正会員 入会金 5,000円・年会費 5,000円

●賛助会員 (一口) 年3,000円~

郵便振込口座: 00140-1-723232

※法人団体会員については、事務局までお問い合わせ下さい。

ご寄付をありがとうございます

2010年5月29日に「村治佳織 チャリティギターリサイタル」を開催したSO支援コンサート実行委員会(SON東京のメンバーは柳井敬子さんと村上佳子さん)から100万円をご寄付いただきました。また、9月11日に行われた「半井清 チャリティボウリング」から多大なご寄付を、10月25日の「SON東京を支える会チャリティゴルフ」から80万円のご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

<今後の予定>

■2011年3月12日(土) 定期総会

<事務局冬季休業>

■2010年12月29日(水)~2011年1月4日(火)

SON東京オフィシャルスポンサー



富士ゼロックス東京株式会社